

【開講日】令和2年6月4日(木)

三鷹サテライト教室

文化

三鷹

0201036

南朝研究の最先端

受講料 (振込額)	12,000円				
必携テキスト	『南朝研究の最前線』洋泉社 1,100円(税込)				
講座概要	曜日	木曜日		日 程	
	時間	16:45～18:15			
	回数	全8回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講 師	本学教養教育リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員 生駒 哲郎 (いこま てつろう)				
	専門は日本中世宗教史、日本古文書学会編集・大会運営委員。立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程満期退学。 山梨県身延山久遠寺、大田区池上本門寺、石川県羽咋市妙成寺などの史料調査委員を経て、現在、武蔵野大学教養教育リサーチセンター研究員・東京大学史料編纂所非常勤職員・東京都渋谷区文化財審議員。 主要著書日本の名僧6『重源：旅の勸進聖』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院体制と社会』(共著 吉川弘文館)、『中世の寺院と都市・権力』(共著 山川出版社)、『山岳信仰と村落社会』(共著 岩田書院)など。				
内 容	後醍醐天皇(南朝)と北朝を擁立した足利尊氏とが対立して戦った南北朝の動乱期について、明治期から戦前までは、後醍醐天皇の「天皇親政(てんのうしんせい)」を絶対視する政府の方針により、足利尊氏は逆賊と評価されてきました。「天皇親政」とは、天皇が実際に政治にたずさわることで、明治政府の理想とするものでした。 戦後こうした歴史観は改められ、史料に基づいた研究が構築されてきている。江戸時代から近代までの後醍醐天皇のイメージも現代の研究の成果によってかなり改められてきている。 本講座では、史料に基づいた南北朝時代の南朝に対する研究テーマを紹介し、史料に基づいた研究成果を一般にわかるかたちで紹介することを目的とする講座です。なかでも、後醍醐天皇、足利尊氏などの信仰の面からも南北朝の動乱期をどう評価すべきか皆さんと考えたい講座です。				
	① 6月4日：鎌倉時代後期の朝幕関係 ② 6月18日：徳政と訴訟制度 ③ 7月2日：後醍醐天皇の登場 ④ 7月16日：後醍醐天皇と仏教 ⑤ 8月6日：後醍醐天皇と真言密教 ⑥ 8月27日：建武政権の評価 ⑦ 9月10日：建武政権と『太平記』のイメージ ⑧ 9月24日：江戸・明治期の建武政権の評価				

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

Musashino University

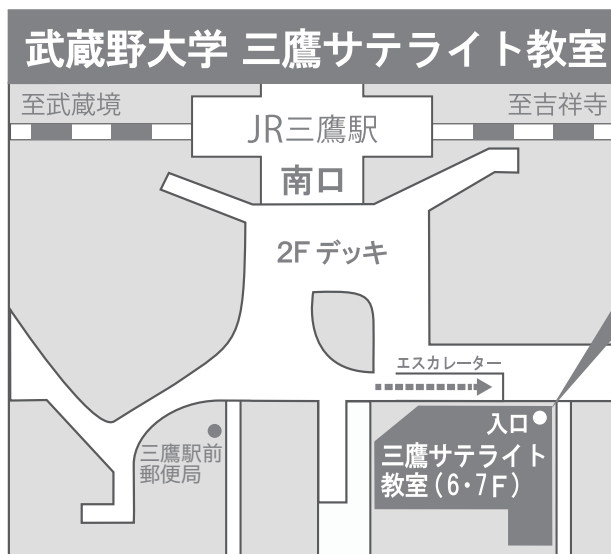
お問い合わせ TEL 042-468-3222
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00
：土曜日 9:30～15:30(祝日を除く)

武蔵野大学 地域交流推進室

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。